

窓をつうじて社会に貢献する



市民が選ぶ CANPAN
第4回 CSR大賞

特別賞 受賞

平成22年12月現在

Contents

私たちのCSRとは

お客様への取り組み

社会への取り組み

人材への取り組み

環境への取り組み

企業理念

窓をつうじて社会に貢献する

～暮らしに不可欠な窓の可能性・

高付加価値化を追求する～

語りつくせない「窓」の魅力をかたちにする。快適で環境にやさしい「窓」を提供することで、お客様、社会、私達自身の幸せを創出する

「卸の精神」を貫く

～共に考え、協働し、各々の顧客販売店の成長と

発展を目指す～

- 1) 豊富な品揃え
- 2) 専門分野（窓）に特化した機能
- 3) 迅速な対応
- 4) 情報の「量」「鮮度」「的確性」
- 5) 顧客販売店の健全な競争のサポート

信用を重んじ誠実に行動する

～裏切らない、約束をきちんと守る～

顧客販売店の立場にたって、「お客様の期待通り+α」をスピード感をもって提供する。

(=サービス業務品質の絶えざる向上)

浮利を追わず堅実を旨とする

～社会価値のない一時的な利益を追わない

(=本業徹底)～

本業とは関係ない目先の利益を求めない。額に汗して、ひた向きの努力と情熱で生んだ成果を真の利益とする。

人間尊重を基本とする

～いかなる場合においても、

人間の尊厳を傷つけてはいけない～

人間尊重の組織運営を目指し、活力の担い手である社員一人ひとりが生き活きと価値のある人生を送ることをすべての基本とする。

時代が変わっても、 変えてはいけないものがある。

代表取締役社長
松本 浩志



創業以来80年の歴史を刻んできた会社を継承するにあたり、「私たち、マテックスはなぜ存在するのか？その目的は何か？これからどう在りたいのか？」について自問自答を繰り返し、ひたすら考え抜いてきました。そして、たどり着いた先には新経営理念の「窓をつうじて社会に貢献する」があったのです。

私たちが扱う「窓」とは、もともと社会性・公益性に富んでおり、安心安全な人々の暮らしや地域社会の創出に不可欠なものでした。

しかしながら、そのことを感じ、どこまで意識して事業を展開していたか、を振り返るとそこには今ある想いとは違う「観」があったことに気づきます。

今こそ、私たち一人ひとりが担っている仕事の大切さをもう一度認識し直し、「窓」がもつ語りつくせない魅力をかたちにすると同時にその先にある豊かな人と社会づくりを実現していきたいと想います。

私たちのCSRは、まさに気づくことから始まった新たな事業観なのです。

第3者コメント



NPO法人としまNPO推進協議会
代表理事 柳田好史

NPO法人や各種社会貢献団体とのネットワーク構築や各種支援、いわゆる「中間支援」をミッションとするNPO法人の代表者。

「CSR」という言葉は世間一般には余り聴きなれない言葉かも知れません。しかし、「中間支援」をその活動展開のミッションとして存する我々には、大変聞きなれた言葉であり「民間営利企業としての社会的存在価値(意義)を示す尺度」と言っても過言ではない重要なキーワードでもあります。

さて、新進気鋭の若きリーダー松本浩志氏を代表とする「マテックス株式会社」は、このCSRの精神を正に経営の根幹の一つとして捉え、社員一人一人がその精神を理解すると同時に体現し、持続可能な社会構築の一翼を担う企業の一つである。新たな公共の担い手を自負する我々とN協は、今後も若き指導者松本氏を応援し続けます。

第3者コメント



(株) ソーシャルプランニング
竹井善昭

社会貢献をテーマとしたコミュニケーション戦略コンサルタント。「社会貢献でメシを食う」著者。

企業をはかる基準はいろいろあります。売上高、経常利益、株主資本利益率など。近年ではこれらに加えて、環境への取り組みと社会貢献活動が重要視されています。いわばCSRへの取り組みが企業評価の大きな要件となっており、本業にCSRをいかに統合させるかが企業の成長を決めつける時代になっています。

マテックス様のエコ窓への取り組みはまさに本業とCSRの統合であり、最先端の事例です。CSR大賞にノミネートされたのも当然のことであり、松本社長と社員の皆様の先見性が正当に評価された結果だと思えます。

業務品質

業務品質向上プロジェクト

日常の業務内容やお客様要望への対応を全社的にレベルアップ、底上げしていくことを目的としたプロジェクトです（平成21年2月発足）。

改善コンテスト

社員一人ひとりが創意工夫を発揮し、業務の改善に取り組むことでお客様への品質向上を図るコンテストです。同時にコスト削減、環境意識の向上、組織の活性化を促進することを目的としています。

支援活動

めざせ！地域一番店プロジェクト

一般ユーザー様を対象とした窓リフォーム事業を新たな分野にとお考えの販売店様を支援しているプロジェクトです。エリアマーケティングのノウハウ、チラシによる集客方法、ウェブサイトの立ち上げサポートなど地域に根ざした繁栄するお店づくりを共に目指します。

めざせ！地場オンリーワンプロジェクト

地域に根ざした地場工務店様ならではの魅力を十分に伝えるため、販売店様と協力して支援しているプロジェクトです。地域の一般ユーザー様への営業活動や、現場の顧客満足度向上等の情報提供を行います。

次世代経営者の会（MK会）

平成17年8月、マテックスが業界の将来を担うガラス販売店の若手後継者と共に発足した会です。後継者として同じ立場にある販売店後継者または既に事業継承された経営者が、経営実務の向上を図るための勉強会・セミナー等を開催、また情報交換、ネットワーク作りも目的としています。

（活動実績）平成22年7月～8月訪問活動により「社会貢献・CSR」に関するインタビュー実施。

平成22年9月「地域密着企業が考える社会貢献」をテーマにセミナー実施。 他

エコ窓普及促進会

CO₂等の温室効果ガスの排出を抑制するには、断熱リフォームによる窓の高性能化が重要であることを一般ユーザー及び関連施工業者に広く知らせ、省エネ効果の高い樹脂

製内窓及びエコガラスの普及促進を図ることで、低炭素社会を実現し、地球環境保護に貢献することを目的としています。

（活動実績）平成21年9月 窓のエコ替え相談会（三和リ・ホーム豊島店）、平成21年11月 エコリフォーム体感展示会（弊社新座営業所）、平成21年11月 エコ住宅普及フェア（豊島区民センター）、平成22年2月 社会貢献活動見本市（豊島区勤労福祉会館）、平成22年2月 なかのエコフェア（中野サンプラザ前広場）、平成22年3月 第3回としまものづくりメッセ（サンシャインシティ展示ホール）、平成22年6月 いちかわ環境フェア2010（千葉県立現代産業科学館）、平成22年8月 としまエコライフフェア2010（豊島区民センター）、平成22年9月 エコメッセ2010in ちば（幕張メッセ） 他

マテックスフェア（販促イベント）

例年10月に実施するガラス・サッシ販売店とその取引先である工務店などのお客様を招待する展示会です。環境配慮製品の展示により環境意識の向上を促すほか、コンプライアンスなどに関するセミナーを実施します。平成22年度は来場の子供たちに「身近にできるエコ」や「頑張るお父さん、お母さんへ応援メッセージを」といったテーマでダストレスチョークを使ってガラスにお絵かきをもらう企画を予定しています。

（セミナー実績）平成18年 古賀久國（弊社販促部長）「めざせ！地域一番店～お店のまわりを地盤にしよう～」。平成19年 池内清治様（日本板硝子）「窓からエコを」。平成20年 秋野卓生様（弁護士）「住宅新法に備えよう。～瑕疵担保履行法への対応～」。平成20年 大庭みゆき様（環境エネルギー総合研究所）「窓からはじまるエコロジー」。平成21年 辛坊治郎様（読売テレビ解説員）「常識の壁を破る発想の転換」 など

観劇セール

私たちの本社所在地である豊島区は「文化創造都市」を宣言しています。お得意先様の文化創造の一助となるよう「観劇」を推進するセールを実施しています。

情報保護

情報管理規定の作成

PCデータ等の取り扱いについて、情報管理規定を作成・周知し、お客様情報の取扱には十分に注意しています。

地域活動

社会貢献活動見本市への出展および寄付

豊島区で開催される「社会貢献活動見本市」は、地域で活動中のNPO・ボランティア団体・CSR推進企業が集まり、普段の活動を地域の皆さんに知ってもらおうという交流の場です。平成21年、平成22年と2回参加し、また活動支援金を寄付しています。

「グリーンとしま」再生プロジェクト いのちの森植樹祭に参加

豊島区は、23区中一人当たりの公園面積が最も小さく、緑被率も19番目(12.4%)と低い、いわば日本一の高密度都市です。「グリーンとしま」再生プロジェクトは限られたスペースを有効活用し緑を増やしていくことで、まち全体の緑のムーブメントを起こすという企画です。マテックスからも植樹活動に参加し、積極的に貢献していきます。

「いちかわ環境フェア2010」に参加

平成22年6月、マテックスが事務局を務める「エコ窓普及促進会」が、千葉県市川市の「第18回いちかわ環境フェア2010」にパートナーの「間伐材普及促進会」と「東京海洋大学」とコラボ出展させて頂きました。それぞれの専門分野である「住まい」「森林」「海」から環境保護への取り組みをPRしました。

「としまエコライフフェア2010」に参加
マテックスが事務局を務める「エコ窓普及促進会」が豊島区主催の「としまエコライフフェア2010」にパートナーの「間伐材普及促進会」と共同出展しました。「窓」と「間伐材」という2つの視点から、ご来場した方々に環境保護の大切さについてPRしました。「みて！さわって！かんで！なっとく」をテーマに、板硝子協会からエコ窓体感車“ガラスの森号”を招き、4方面に異なる種類のガラスを取り付けた“ガラス体感冷蔵庫”を展示しました。

各団体との連携

NPO・NGOとの連携

としまNPO推進協議会やNPO法人エココミュニケーションセンターといった団体との連携により、としま社会貢献見本市、としまエコライフフェアなどのイベントに参画しています。

エコ窓普及促進会×間伐材普及促進会×東京海洋大学とのコラボレーション企画

「森林」と「海洋」の環境破壊と「人間の暮らし」をテーマに、間伐材普及促進会および東京海洋大学との協働プロジェクトを展開しています。

(活動実績と予定) 6月「いちかわ環境フェア2010」、9月「エコメッセ2010 in ちば」に出展し、ちょっとした生活の工夫からできる環境貢献についてプレゼンテーションを実施。12月には「エコプロダクツ2010」に出展予定。

ブックオフコーポレーション企画への協力

ブックオフコーポレーション(Book-Off)が取り組む「BOOKS TO THE PEOPLE プロジェクト2010」について社内での周知やイベントでの広報に協力しました。期間中にBook-Offへ売却した本によって開発途上国に図書館を建てるための寄付に繋がります。寄付はルーム・トゥ・リード(NGO)を通じて行われます。

震災など災害時における貢献

震災、異常気象などによるガラス破損に対し、地域の販売店および同業他社との協働により迅速な対応を行います。

フェアトレードへの協力

お歳暮やお中元など、お客様への贈答品について、フェアトレード品を試験的に導入しています。

採用・選考

適切な雇用にむけた取組み

学生にとって最適な企業選択ができるよう、選考時期の早期化を防止・入社後のミスマッチ削減・景気に左右されない継続的な新卒雇用を実施しています。また正社員雇用率が99%を超え、安定的な雇用創出に努めています（製造・物流・販売の全部門を含む）。

「社会貢献と仕事のモチベーション」

シンポジウムの開催

平成22年11月、就職活動前の学生、CSRや社会貢献に興味のある社会人を対象にしたシンポジウムを開催しました。「やりがいを感じる仕事」とは何か。学生が会社を選択する際の一つの考え方を提供できればと考えています。

ワークライフバランス

ワークライフスローガン

社員が働く上での考え方をワークライフスローガンとして掲げています。

社員一人ひとりが

「仕事の楽しさを感じられる」

「やりがいをもって働ける」

「誰もが仕事に誇りを持てる」

そんな集団・会社を目指す。

人事基本方針

人事・福利厚生・教育の企画をつくるもととなる方針です。

前向きに学ぼうとする気持ち、

長期的な視点でキャリアを積もうとする気持ち、

豊かな心と健康な体を育もうとする気持ち、

を大切にします。

サークル補助制度

仲間を募って健康的、文化的な活動に利用できるようサークル活動に対して補助を支給しています。社員の豊かな心と健康を育もうとする気持ちを大切に、メンタルヘルスケアの一助にすると共に、社員間の横の繋がりも育みます。平成22年9月現在、フットサルと釣りがサークル活動中です。（部活動としては野球部があります）

リフレッシュ休暇制度

連続した3日間までの休暇取得を推進、心身をしっかりとリフレッシュします。日頃から部門内のチームワークを作っておくことで、担当者不在でも周りの社員で臨機応変に対

応できる柔軟な組織を目指すことも目的としています。

全社員参加の親睦会

毎年、夏季（7月）と冬季（12月）にそれぞれ全社員が参加する親睦会を開催しています。親睦会では会社方針等の説明や業績優秀部門、優秀者の表彰がある他、ビンゴなどのレクリエーションを行い盛り上がるイベントです。

保養所の利用促進

自社で保有する保養所施設について、社内報など案内資料などを通じて取得推進しています。

社員のキャリア形成

自己啓発の支援

社員のキャリア形成および前向きに学ぼうとする気持ちを支援するための教育支援を行っています。業務に直結するPCスキルを始め、業務とは直接関係しない分野のセミナー参加などで、幅広い教養を養うことができる環境づくりをします。

（内容）平成22年4月～ 慶応MCC夕学五十講をはじめとする外部自己啓発セミナーへの参加支援、通信教育の受講補助、平成22年5月 「社会人として大切なことはすべてディズニーランドで教わった」 著者 香取貴信様による講演、平成22年11月 竹井善昭様による「社会貢献と仕事のモチベーション」をテーマにした講演、 他

メンター制度

先輩社員がメンターとして新入社員の社会人としての立ち上がりを支援します。報告会で他部門と情報共有し、社内の「教育」に対する環境づくりを啓蒙します。

目標チャレンジ制度・自己申告制度

上司と半期ごとに目標を設定し、その達成にむけて行動していくことでキャリアステッププランを考えていきます。

（役割等級制度により役割ごとの目指すべき状態がオープンにされています）また自身の自己啓発意欲や業務への取組みの状況について、上司と確認する機会を設け、長い視点でのキャリア形成を行います。

人権・コンプライアンス・ハラスメント

管理職向け職場環境向上セミナー

平成20年より管理職を対象に、労働法規・コンプライアンス・ハラスメントに関する研修を実施しています。

環境に関する基本方針

地球温暖化による環境破壊が、人類の活動に由来した問題であることをきちんと認識し、環境負荷の軽減および環境保護に係わる社会貢献活動を積極的に実施します。

社内の環境配慮意識を高めるための活動を推進するとともに、CO₂等の温室効果ガスの抑制に効果的な、省エネ型の開口部（窓）の提案・販売を積極的に取り組みます。そのために、次の行動指針を定め、低炭素社会の実現に貢献する努力をします。

1. 環境意識の向上を図ります。
2. 環境関連法規を遵守します。
3. 資源・エネルギー（水、用紙、電気、ガソリン燃料）の削減に取り組みます。
4. 廃棄物の排出抑制に努めます。
5. 省エネ型の開口部（窓）の販売促進に努めます。
6. 地域の社会貢献団体との協働を推進します。

エコアクション21の認証取得

平成22年9月、エコアクション21に認証登録されました。社内の環境配慮意識を高めるための活動を促進するとともに、CO₂等の温室効果ガスの抑制に効果的な、省エネ型の開口部（窓）の提案・販売を積極的に取り組み、低炭素社会の実現に貢献する努力をし、環境目標の達成に向けて活動します。

5S活動によるゴミ削減への取組み

5S活動を推進し整理・整頓を徹底することで不要な物を捨てゴミの分別を図り、リサイクルの向上に努めています。

ペットボトルのキャップの寄付

ペットボトルのキャップを外して集めることによりゴミとして焼却処分されず環境保護と再資源化の促進ができます。再資源化することによりCO₂の削減となり、集めたキャップをNPO法人エコキャップ推進協会へ寄付することで発展途上国の子供たちにワクチンを贈る活動に協力しています。

エコ窓の社内販売

社内のCO₂削減意欲喚起

当社は環境配慮商品であるエコ窓を取り扱っています。住居のガラスをエコ窓に入れ替え住環境の向上を体感したいと考えている社員に費用を補助します。社員のCO₂削減による省エネ意識を高めること、実際に体感した生の声を伝えることにより販売普及活動に努めます。

事務所のエコリフォームによる省エネ

平成21年5月は本社、平成22年8月は草加営業所と事務所のリニューアル工事を行いました。環境に配慮したエコ窓の導入、エネルギー効率やCO₂削減を考慮した照明設備の見直しを図りました。今後も順次、営業所のエコリフォームを計画し、省エネに努めていきます。

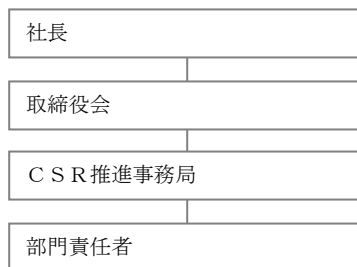
社内での環境教育

エコアクション21の推進や5S活動など、社内での教育を実施しています。また、平成22年より新入社員研修としても導入しています。



推進体制

CSR



リスクマネジメント

